

---

# 地域色パレットができるまで

## 01

---

### 地域色研究会の発足

令和5年5月

「色と地域のイメージを結びつけ、今後の観光資源に活かすことはできないか」と地域ブランディングについて話し合い、地域色研究会を発足しました。



# 02

## アンケートの収集



「これぞ御宿カラー！地域色募集中！」というアンケートを作成し、御宿町をよく知る住民や町にご縁のある関係者がイメージする御宿ならではの色を情報として集めました。アンケートには323名の方々にご協力いただきました。

# 03

## 第1回ワークショップ開催 令和5年12月9日【色を選ぶ】



御宿町内外から定員の20名が参加。御宿町の観光協会や商工会、地元事業者、小学生、近隣市町など、御宿にご縁のある人たちに参加いただきました。



ワークショップでは、色の三属性など基本的な知識に触れた後、グループに分かれ、事前アンケートを踏まえて、色から連想する地域の魅力を書き出していきました。特産物や御宿ならではの景色など、色に意味やストーリーをひも付けながら整理を行いました。

# 04

## 地域色の集計

色	慣用色名	マンセル記号
	17 紅 緋	6.8R5.5/14
	31 樺 色	10R4.5/11
	41 橙 色	5YR6.5/13
	61 黄	5Y8/14
	78 白 緑	2.5G8.5/2.5
	80 常 藍 色	3.5G4.5/7
	99 空 色	9B7.5/5.5
	100 青	10B4/14
	104 露 草 色	3PB5/11
	112 群 青 色	7.5PB3.5/11
	132 胡 粉 色	2.5Y9.2/0.5
	133 生 成 り 色	10YR9/1

JIS日本産業規格の慣用色名和名147色から、第1回ワークショップの結果(人気ランキング)を踏まえ、12色を抽出しました。ここでパレットに入れる「これぞ御宿の12色」が決まりました。

# 05

## 第2回ワークショップ開催 令和6年2月17日【色名を考える】



ワークショップでは、抽出された12色から連想するイメージについて意見を交わしました。12色それぞれに御宿町の特産品や街の景色、イメージする言葉などが出され、最終的にそれぞれ10~15ほどの言葉に絞られました。



選んだ色は古くから用いられている慣用色名の12色（紅緋、樺色、橙色、黄、白緑、常盤色、空色、青、露草色、群青色、胡粉色、生成り色）。紅緋からイメージする言葉として「伊勢エビ」「太陽」「エビアミーゴ」「キンメダイ」「メキシコ激辛」などが挙げられ、各色それぞれに御宿町らしい言葉が並びました。

# 06

## 「色名を選ぶ」 掲示投票&投票アンケート を実施 (令和6年6月~10月)



第2回ワークショップの結果(人気ランキング)を踏まえ、12色それぞれ7~9の候補色名に絞り、その中から御宿ならではの色名を選ぶ形で、掲示投票や投票アンケートにて回答を収集しました。掲示は、5か所(御宿町役場、Relish東南風、月の沙漠記念館、御宿ウォーターパーク、スーパーおおたや)に設置させて頂きました。12色への色名投票数は合計4988票となりました。実に400名を超える方々にご協力いただきました。

御宿地産色12色【色名候補一覧】

色名	候補色名	得票数
1	赤	1
2	オレンジ	2
3	黄	3
4	黄緑	4
5	緑	5
6	青緑	6
7	青	7
8	水色	8
9	淡青	9
10	淡紫	10
11	淡紫	11
12	淡紫	12



# 07

## 色名の集計と決定



投票結果からの人気ランキングを踏まえ、今後、御宿町で商用や教材利用など様々な形で活用しやすいよう、ディレクション(著作権や商標等も考慮)の上、12色の色名を決定しました。